

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0260	2,0260	2,0230	2,0180	2,0310	+0,0130
	USD/YEN	Spot	78,00	78,12	78,52	78,49	78,68	+0,1900
	EUR/USD	Spot	1,2879	1,2921	1,2904	1,3013	1,3022	+0,0009
	BRL/YEN	Spot	38,50	38,56	38,81	38,89	38,74	-0,1500
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,28	1,27	1,20	1,16	1,29	+0,1245
		1Year(p.a.)	1,58	1,53	1,46	1,48	1,50	+0,0158
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,28	7,23	7,25	7,26	7,26	u,c,
		1Year(p.a.)	7,48	7,44	7,40	7,38	7,49	+0,1111
Stock	Bovespa		59.571	59.222	58.627	58.458	58.505	+47,25
Bond	CDS Brazil 5y		113,08	115,00	113,98	113,38	113,38	u,c,
	Global 40		127,750	128,175	127,750	127,750	128,050	+0,3000

* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	オランダ伯財務省	為替と金利政策の変更を
IBGEインフレ率-IPCA(前月比,9月)	0.56%	0.57%	0.41%	(金融政策担当)	実施する必要があった
インフレ率(IPCA)- IBGE(前年比,9月)	5.26%	5.28%	5.24%		

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.0280 で寄り付いた。
- 週初は欧州の経済指標が予想比良好な結果となったことが好感され、ユーロが堅調に推移。レアルはユーロにつられて買いが優勢となるも、伯中銀によるドル買い介入警戒感から 2.02 台半ばを中心にレアル買いの動きは限定的となつた。
- 週央には米 ADP 雇用統計が予想を上回ったことが好感され、レアルは 2.0220 まで買い進まれた。
- 翌 4 日には ECB が政策金利の据置きを発表したことに加え、ドラギ ECB 総裁がスペインやイタリアの国債購入の用意があると明言したことが好感され、リスク資産買いに拍車がかかり、レアルも 2.01 台後半まで続伸した。
- 週末にかけては米失業率が予想を大きく下回ったことが好感され、レアルは週間高値となる U\$1=R\$2.0170 まで続伸した。しかし直後に 2 週間振りとなる伯中銀によるドル買い介入が通知されるとレアルは一気に反落し、週間安値となる U\$1=R\$2.0320 まで売り戻され、結局 U\$1=R\$2.0310 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
10/8	FGVインフレ率-IGP-DI	Sep	0.84%	1.29%
10/8	FGV CPI IPC-S	Oct 7	0.60%	0.54%
10/8	貿易収支(FOB)-週次	Oct 7	--	--
10/10	FIPE消費者物価指数(週次)	Oct 7	0.59%	0.41%
10/10	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	Oct 9	0.52%	0.84%
10/10	ブラジル中央銀行 ターゲット金利	Oct 10	7.50%	7.50%
10/11	小売売上高指数(前月比)	Aug	0.00%	1.4%
10/11	小売売上高指数(前年比)	Aug	9.10%	7.1%
10/11	広義小売売上高(前年比)	Aug	14.00%	10.2%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.01~2.04

今週は予想比良好な結果となった米雇用統計やユーロ圏の国債購入計画に関するドラギ ECB 総裁の発言を受けて市場では流動性増加を先取りする格好でリスク資産の買いが見られた。限定的なレンジで取引されていたレアルも 2.01 台まで買い進まれると、中銀はドル買い介入を通じてレアル高進行を牽制した。来週はレアル相場のボラティリティーを高める要因として欧米での経済指標のほか、国内では伯金融政策委員会 (COPOM) の開催(市場では 0.25% の利下げ予想)が注目されるが、引き続き伯中銀による介入警戒感は強く、来週もレアルの値動きは限定的な動きに止まることが予想される。